



'21.10.31 聖日-RT

ダビデの人生旅程

福音、祈り、世界 味わう

序	本	結- 祈り時刻表
羊飼い 緑の牧場 いこいの水のほとり 生き返らせ(たましい)	1. 刻印 (詩 78:70-72)	1. 詩 5:3 (1分)
道 杖、むち 敵-油 家(平安)	2. 現場-根 実 (詩 23:1-6)	2. 詩 23:1-6 (葛藤)
CVDIP	3. 体質化 (運命)	3. 詩 17:3 (30分)
1, 3, 8 (Trinity)	1) みことば 2) 祈り 3) 賛美 4) 技能 5) タラント	1) 機会 (恵み) 2) 裏切り (未来) 3) 神殿 (永遠)
3 超越		
3 生かされる (1:27, 2:7, 2:1-18)		
3 空前絶後		

詩 23:1-6

- 1 主は私の羊飼い。私は、乏しいことはありません。
- 2 主は私を緑の牧場に伏させ、いこいの水のほとりに伴われます。
- 3 主は私のたましいを生き返らせ、御名のために、私を義の道に導かれます。
- 4 たとい、死の陰の谷を歩くことがあっても、私はわざわいを恐れません。あなたが私とともにおられますから。あなたのむちとあなたの杖、それが私の慰めです。
- 5 私の敵の前で、あなたは私のために食事をととのえ、私の頭に油をそそいでくださいます。私の杯は、あふれています。
- 6 まことに、私のいのちの日の限り、いつくしみと恵みとが、私を追って来るでしょう。私は、いつまでも、主の家に住まいましょう。

要約

福音、祈り、世界	味わう
----------	-----

△答えをたくさん受けたダビデの人生を Remnant が学ぶべきだ。福音が何か。祈りが何かを分かってこそ、世界が分かる。Remnant のときにこれを見つけられなければ苦労するようになって、あらかじめ征服できる多くのことをのがすようになる。それから知らなければならないのは、祈るとき、礼拝するとき、味わうようになることがなければならない。このようになってこそ祈りになる。Remnant はこれを見つけなければならない。

□序論_ダビデが祈るたびに味わった内容

<p>△祈るその時間に</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 主は私の羊飼い 2. 私が祈るとき、私を緑の牧場に導かれる 3. いこいの水のほとりに導かれる 4. 私のたましいを生き返らせてくださる 5. 義の道に導かれる 5. 主のむちと杖が私の慰め 6. 敵の前で上から油を注がれる(勝利するようにされる) 7. 主の家にいつまでも住まいましょう(平安)祈るときごとにこの祝福を味わうようになる 	<p>祈る時 1, 3, 8 (Trinity)</p>
<p>CVDIP -祈るたびに契約をしっかりと握って、その中でビジョンが見えて、絵(ビジョン)をドリームで描き、そして、θが答えるイメージであるみことばに従って行き、そして学業が作品で続く!</p>	<p>この祝福を祈る時 3 超越(御座、時空超越、237の光)が私の中に臨むことになる</p> <p>3 生き返る(創1:27, 創2:7, 創2:1-18)。このことが生き返ること。これが祈り</p> <p>3 空前絶後—ここで Remnant の学業が出てくる</p>

□本論

1. 刻印-Remnant のときに刻印されることがすべてだ(詩 78:70-72)
 - 1) 羊飼いでありながらみことばの力
 - 2) 祈りの力
 - 3) 賛美の力
 - 4) 羊を飼う技能—ある日、ゴリヤテの頭を砕く
 - 5) 未来に対するタラントをあらかじめ与えられる—「羊を育てる者から民を養う者」へ!
2. 現場に行き、事件に会えば根を下ろして実を結ぶようになる(詩 23:1-6)
 - 1) ゴリヤテとの出会い—偶然ではない。技能とタラントで勝つようになる。
 - 2) 逃亡者—すべての実は、このとき、みな結んだ。
 - 3) 死の危機—このとき、実がみな結んだ。
3. 刻印、根が体質化されて、運命を左右するのだ。国と時代の運命を変えることになる。
 - 1) サウル王を殺すことができる機会がいくらかでもあったが殺さなかった

△御座の祝福が恵みで臨んだのだ(運命を変える最初の機会)

 - 2) アブシャロムの裏切り—アブシャロムを殺せるのに殺すなどお願いして逃げた(運命を変える二つ目の機会)。それはとても重要な未来を準備したこと
 - 3) 神殿準備-永遠という機会を握った

□結論_祈りの時刻表

1. 詩 5:3(ダビデの朝の祈り)

△目を開けば祈り始めなさい(1分でも)「朝明けに、私の声を聞いてください」「朝明けに、私はあなたのために備えをし、見張りをいたします。」ある日、ものすごいリズムになる。
2. 詩 23:1-6(ダビデの昼の祈り)

△どんな苦しみにあっても、神様はむちと杖で守ってくださる。これを常時祈りと言う。人々が葛藤を非常に与える。このとき、祈りを!
3. 詩 17:3(ダビデの夜の祈り)

△「私の心を調べ」(私を顧みてくださるという意味)
「夜、私を問いただされました」(私を調べられるという意味=力を与えられるという意味)

△夜に寝る前にする祈りと 30 分の勉強は、ものすごい力がある。科学的に、医学的にも証明された。夜に寝る前 30 分と、朝起きて 30 分は一日終日するよりさらに効果があるという。このように始めれば良い。

全文打ち出し翻訳

答えをたくさん受けたダビデの人生をみなさんは学ぶべきでしょう。ここで少し参考にしなければならない部分があります。

福音、祈り、世界

福音が何か、祈りが何かを分かってこそ、世界が分かります。そうしてこそ、世界福音化できるからです。Remnant のときに見つけられなければ、少し一生苦労するでしょう。もちろん、私たちは神の子どもですから、問題はありませんが、あらかじめ征服すべき多くのことをのがすようになります。

味わう

それから、分からなければならぬことがあります。Remnant です。釣りをする人がなぜずっと釣りをするのでしょうか。釣りをするその面白味を分かるからするのです。そうでしょう。真の釣りを味わった人は、それを手放すことができず続けてします。それと同じように、この祈るとき、礼拝するとき、味わうことがなければなりません。そうしてこそ、祈りが成り立つでしょう。これを Remnant が見つけなければなりません。それを今日、ダビデが語っているのです。何か語ったのでしょうか。一度見てください。

□序論

ダビデが祈るたびに味わった内容です。

羊飼い

「主は私の羊飼い」こう言いました。そして、「祈るその時間に神様の導きを受ける羊飼いだ」そのように言いました。

緑の牧場

そして、祈るその時間がどれだけそうしたかという、「緑の牧場に導かれる」こう言いました。みなさん、緑の牧場に行くのは良いでしょう。

いこいの水のほとり

そして、いこいの水のほとり。いくら困難がきてもダビデが祈るときに何を感じたかという「神様が私の羊飼い、緑の牧場に導かれ、いこいの水のほとりに、このように導かれる」こう言いました。

生き返らせ(たましい)

その程度でなく、祈るとき、私のたましいを生き返らせてくださる。単なることではないでしょう。たましいを生き返らせる。これをみなさんが契約として、ビジョン(Vision)として、ドリーム(Dream)として、イメージ(Image)として、プラクティス(Practice)として、しっかりと握らなければなりません。

CVDIP

ある人、絵でこのようにするのですが、CVDIP としてしっかりと握らなければなりません。ある人は「このように私の頭で絵を描いて……」ふさわしい言葉ですが、みなむだな話です。CVDIP をしっかりと見上げるのです。

みなさんが祈るたびに契約をしっかりと。そして、ビジョン(Vision)が見えて、それをドリーム(Dream)として、そして、みなさんは、それから神様が答えられるイメージ(Image)にずっとみことばに従って行くのです。そして、実際の学業はなんでしょう。作品を作るので、これをずっと頭に描かなければなりません。祈りによって。

いやされますか。いやされませんか。いやされます。みなさんものすごい力が生まれます。Remnant の時にのがしてはいけません。ダビデが幼い時にできたのです。それがどれくらい、ほんとうに幸いでしょうか。

道

その程度ではありません。義の道に導かれる。みなさん祈るその時間は、神様が道を導いてくださる時間です。

むち、杖

そしてなんでしょう。いくら困難がきても大丈夫です。「主のむちと杖が私の慰めです」こう言いました。杖は案内します。むちは、何か悪い獣、そのようなものを殴るのです。全く同じですが、それが杖にもなり、むちにもなるのです。

敵一油

そして、なんでしょう。「敵の前で私の頭に油を注いでくださいます」こう言いました。多くの敵がいるそこで神様が油を注がれるということは、勝利したということでしょう。

家(平安)

そして、何と言いましたか。「私は、いつまでも、主の家に住まいましょう」最後に何でしょう。平安です。「私は、いつまでも、主の家に住まいましょう」この中には力、味わうこと、平安、みな入っています。みなさんが祈るたびにこのような祝福を味わわなければならないのです。最近、出てくるメッセージをのがさずに、実際に味わわなければなりません。

3 超越

なんでしょう。この祝福を祈るとき、ずっと 3 超越を味わうのです。

1, 3, 8(Trinity)

祈るとき、キリスト、神の国、ただ聖霊は、三位一体の神様でしょう。この中で3超越をずっと味わうのです。御座、時空超越、これを信じるべきです。これを味わうとき、ずっとみわがが起きるのです。私が御座、このような祈りをしなくても、神様の聖霊が私の中に、キリストの霊が私の中に、神様の力が私の中に、祈るとこのようなことが起き始めるのです。

3 生き返らせる(創 1:27, 創 2:7, 創 2:1-18)

さらに重要です。さらに重要なことは、三つがあります。私の中にぴったりこのように場所を占めることです。御座と時空超越と 237 の光が私の中に臨むということです。これが今、私の中にあることが生き返ることです。「生き返らせてくださる」そう言いました。何でしょうか。私のたましい、いのち、こういうものが生き返るのです。祈るときに。

創 1:27

創世記 1 章 27 節。神様の霊、神のかたちのことです。

創 2:7

主が吹き込まれる、そのいのちの息で。創世記 2 章 7 節、このようになります。

創 2:1-18

そして、本来のことを回復するのです。エデンの園。これが祈りです。ですから、みなさんがこの祈りを実際にずっと CVDIP でずっと味わって行くのです。

3 空前絶後

ここでみなさんの学業が出てくるのです。何をしてもかまいません。みなさんの職業、学業が空前絶後になるのです。

今、学校で勉強することは基礎だと考えれば良いです。すべてだと考えてはいけません。基礎。

そして、勉強できない人も成功する理由が、基礎なしで成功したから、ちょっと揺れます。それでもできます。違うから。ところで、学校の勉強を全くしない人にも、良く暮らす人がいます。なぜなら、もう良い暮らしをするでしょう。しかし、揺れます。いつも基礎がないから。

ですから、みなさんが今、学校に通うのは基礎の勉強をしているのです。この中に、みなさんにこの祝福が。必ず Remnant がこの祈りを始めるべきです。

それゆえ、どのようにするかは結論に話します。この祈りをどのようにするのは、これは結論で話します。これをするとき、今、みなさん Remnant に起こる重要なことを今見なければなりません。

口本論

1. 刻印

今、幼いときに、みなさん Remnant のときに刻印されることがすべてです。英語の単語を今、たくさん覚えてください。今、入ったことでなければ出て来ません。後ほどみな出て行きます。

2. 根

こうしたが、みなさんが現場に行き、事件に会えば、これが根をおろします。そこで実を結ぶのです。そうでしょう。今は分からないのですが、後に現場に行き、瞬間ごとに実を結びます。根をおろすから。

3. 体質

必ずみなさんが年を取れば、この二つが体質化されて、運命を左右するのです。必ず記憶しなければなりません。Remnant の時に、少しだけ分かれば良いです。

この祈り(序論)を今から始めてください。

1. 刻印(詩 78:70-72)

すると、今、刻印されたことをおもに見れば、詩 78 篇 70 節から 72 節でしょう。

1) みことば

ここでみことばの力

2) 祈り

羊飼いでありながら祈りの力

3) 賛美

みなさん、単なる賛美をしたわけではありません。この賛美は、とても刻印される、そのために賛美の力。

今から後に礼拝して賛美するとき、意味をもって賛美しなければなりません。すべてみなさんに刻印されます。

4) 技能

ここから技能が出てきました。羊を守ることに。これがある日、ゴリヤテの頭を砕くのです。このようになります。それで終わったわけではありません。

5) タラント

とても重要なのが五つ目のことです。みなさんが、これ(刻印-みことば、祈り、賛美、技能)しているとき、すでに神

様がみなさんの未来に対するタラントを確かに与えてくださいます。この詩篇(78 篇)を見れば出てきます。羊を育てる者から民を養う者へ。民を養うということは、王です。このようになるのです。今、みなさん契約をしっかりと握っていれば、ある日、このことが起こります。それが今日の本文です。

2. 根(詩 23:1-6)

1) ゴリヤテ

このまま出てくるのに、ある日、ゴリヤテにぴったり会うようになります。偶然でしょうか。ちがいます。ぴったり会うようになります。この技能とタラントで勝ちます。それだけではありません。

2) 逃亡者

とても、このゴリヤテに勝った後に、ずっと追われる身分になります。それこそ逃亡者に。逃げて回らなければならなかったのです。すべての実を、このとき、みな結びました。知っているでしょう。

3) 死の危機

死の危機も来ました。すべてみな、このとき、実がみな結びました。心配しなくても良いのです。Remnant は今から少しも心配する必要がありません。

3. 体質化(運命)

いよいよ国と時代の運命を変えます。このようになります。

1) 機会(恵み)

サウル王を殺すことができる機会は、いくらでもありました。サウル王を殺しませんでした。そうでしょう。これはダビデに最初、どんな機会がありましたか。サウル王を殺すしかはない状況なのに殺さなかったのです。やはり、もう同じように、御座の祝福が恵みで臨むようになりました。みなさんが赦すことができない人を本当に赦しましたか。それはとても御座の祝福が恵みで臨むようになるでしょう。

2) 裏切り(未来)

特に見てください。後ほどアブシャロムが反逆、裏切ったのではないですか。それゆえ、逃げたのですが、アブシャロムは自分の息子です。これが裏切ったので逃げたのですが、逃げながら言ったことばがあります。「アブシャロムを殺してはならない」そう言いました。軍人にお願いしました。それは、ダビデがいくらでもアブシャロムを殺すことができるのです。避けて逃げたのです。それが二つ目の機会です。運命を変える二つ目の機会です。

それゆえ、ものすごい未来を準備することになります。また戻ります。シムイがのろった時があったでしょう。

3) 神殿(永遠)

三つ目の機会がきました。ダビデは完全に神殿準備をしました。これは永遠という機会を握るのです。

この全体が今ダビデの人生旅程です。Remnant は今、しっかりと握らなければなりません。本当にこういう話をすれば変ですが、率直に本当に私が話しました。勉強できなくてもかまいません。これ(序論)をよくすればよいのです。本当にみなさんの親の立場で話します。先生が聞けば気分が悪く、みなさんの親が聞けば気分が悪いでしょう。「いや、勉強できなくてもかまわないということですか。」かまいません。少し質と量の方向が違うだけであって。ある人はスポーツが上手で、ある人は読み書きの勉強を上手にして、いろいろなことがあります。そうでしょう。方向が少し違うだけです。ある人は法律側に行って、また、ある人は医学、医者側に行って、このように方向が違うだけであって、なにが正しい、まちがっているではありません。

しかし、これ(序論)はしなさいということです。分かるでしょう。そうすると、このようなことが起こります。

□結論

それで今からしてください。

1. 詩 5:3(1分)

詩篇 5 篇 3 節です。難しいと考えずに、目を開けたら祈り始めましょう。そうすればよいのです。ダビデの朝の祈り。

「朝明けに、私の声を聞いてください」そうです。そして「朝明けに、私はあなたのために備えをし、見張りをいたします」と言いました。なぜでしょうか。朝であるから。

Remnant の時は、かなりとんでもないこととして睡眠が足りなくてやっと起きますね。かまいません。起きた瞬間に祈り始めてください。ひざまずいて祈って、そのようにしなくてもよいです。そのまま祈ります。歯磨きをしながら祈るのです。そのまま顔を洗いながら祈ります。そうしてもかまいません。これがある日、みなさんにもものすごいリズムになります。

2. 詩 23:1-6(葛藤)

ダビデの昼の祈りです。これが(序論)出てきたのではないですか。どんな困難にあっても神様はむちと杖で。すべての出会いを祈ればよいのです。みなさんはその時間が祈りの時間です。「道に導かれます」これを常時祈りと言います。

3. 詩 17:3 (30 分)

ダビデの夜の祈り。「夜、私の心を調べ」調べるというということは、顧みてくださるということです。「私の私を問いただされました」これは、調べるということです。なぜでしょうか。力を与えようと。人々がみなさんを問いただすのは、干渉しようとするのですが、神様は力を与えようと。

このようにすればよいのです。分かるでしょう。今日、全国世界の Remnant は、絶対のがしてはなりません。はじめてください。

△本当に私はできない。1分はできるのではないのでしょうか。朝、目をあけるとすぐに1分、重要です。

それから、人々が葛藤を多く与えます。そうでしょう。そのとき。

みなさんの一番の悩みが、今はそれでも勉強でしょう。夜に寝る前にする祈りと30分の勉強はものすごい力があります。寝る前の30分はとても重要です。科学的に医学的に証明されました。「夜に寝る前に30分、朝起きて30分は一日中することよりさらに効果ある」ということです。

どうしてもできなければ、このように始めれば良いです。ある日、みなさんが完全にこのように(刻印、根、体質化)なります。祈ります。

祈り

すべての問題解決者であるイエス・キリストの恵みと私たちの神様の大きな愛と聖霊の働きが、全国すべての世界にいる Remnant の上に、今からのちとこしえまでいつもともにありますように。アーメン